

# 令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立三田小学校
作成日	令和2年3月10日

## 1 教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる。

## 2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"><li>・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。</li><li>・毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 90%)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 95%)</li><li>・「みんなの道徳」等の活用100%</li><li>・いじめの解消率 100%</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・朝ごはんを食べた。(児童 100%)</li><li>・積極的に運動を行うよう計画し、実践した。(教師 90%)</li><li>・避難訓練において、一次避難が避難開始より4分以内に完了する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート 80%)</li><li>・ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。(教師 90%)</li></ul>
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・県学習到達度調査での正答数向上は喜ばしいことです。これからもより向上できますよう御指導をお願いします。</li><li>・子供主体の授業など、目標どおりお願いします。</li><li>・基礎基本の確かな定着、子供主体の授業の推進、家庭学習の定着、読書活動の推進等、これからも継続するよと思っています。</li><li>・基礎(基本)をしっかり身に付けてこそ応用に繋がりますますので、読書や計算などを継続して取り組んでいただきたいと思います。学習到達度調査で県平均を下回ったことは残念ですが、まずは「学校の勉強が分かる」を上げることからだと思います。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・積極的に挨拶する子供たちが多くなった。</li><li>・道徳、人権教育の充実、いじめの未然防止・早期発見、社会性・協調性の育成、積極的に挨拶ができる子になど、これからも継続するよと思っています。</li><li>・保護者アンケートで概ね保護者の信頼を得ているように思える。ただ、「いじめをなくす学校・学級づくり」の頂の「わからない」が多いので、もっと発信していく必要を感じる。</li><li>・道徳授業での評価は難しいと思いますが、人として当たり前のことができる子、感じる子に成長していくためにも、道徳授業を通じて促して頂きたいと思います。</li><li>・いじめゼロが本来の姿であると思いますが、仮に発生した場合は、被害者・加害者共にしっかりとフォローが必要で。</li><li>・誰とも自然に挨拶ができる習慣を身につけていただきたいと思います。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体力の向上、基本的な生活習慣の確立、危機回避能力の育成等、今後も継続が必要かと思えます。</li><li>・学校主体での体力向上に期待いたします。ただ個性もありますので、一人一人に合わせた指導もできることならお願いしたいところです。定期的な避難訓練の実施も、家庭で生かすことができると思っています。</li><li>・朝ごはんを食べていない子供が結構いることは残念です。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月発行の学校だより、校長先生が届けてくださり、学校の様子がよくわかります。新年度より町内回覧板で皆さんにお知らせします。</li><li>・保護者アンケートの反映された取組をお願いします。</li><li>・運動会、学校まつりなど、子供作成のポスターを自治会掲示板で告知する。</li><li>・家庭地域との連携の充実、保幼小の接続・中学校区における学校間連携の推進、地域の資源活用の推進等、今後も継続が必要かと思えます。</li><li>・三田地区は他の地区よりも地域の方々に協力をいただいていると思えます。そのような方々のお話を聞かせていただくことで普段の授業では得られない知識だけではなく、地域を愛する気持ちもはぐまれると思えます。今後も継続をお願いします。</li></ul>
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人一人の児童に合わせた学習は難しいと思いますが、工夫をして基礎学力の向上に取り組んでいただきたいと思います。</li><li>・公開学習等とおして、発表や子供の活躍する場面を大切にされていたが、授業そのものの質の向上が何よりも大切ではないでしょうか。学び合い子供が考える場面を大切にしたい。</li><li>・朝学習や基礎学習タイムなど、継続した取り組みが行われており、着実な学力向上につながっていると思えます。</li><li>・継続した取り組みには「飽き」もできるものですが、先生方の取組のおかげで児童も興味をもって勉強されていると思えます。</li><li>・読書の習慣づけも大切だと思います。ジャンルにとらわれることなく、どんどん活字を読む習慣づけをお願いします。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎日通学路での交通指導で子供たちの様子を見ていますと、おとなしい子供が多く、元気が低いと思えます。</li><li>・教師が手本となって挨拶する習慣をつける。継続をお願いします。</li><li>・挨拶について、どういときにどうい挨拶が適切かを先生方が示していただければと思います。</li><li>・道徳教育はいじめゼロや挨拶習慣にもつながるものだと思います。指導要領の関係もあるかもしれませんが、子供たちの成長に何が必要かを吟味の上、ご指導をお願いします。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・早寝早起き朝ごはんの習慣を続けることが体力向上にもつながると思われま。いざというときの危機回避は、日頃からの訓練をすとしていなければなりません。様々な取り組みを独自で行っているのは素晴らしいことだと思いますが、素晴らしい記録を出した児童を紹介する手段も検討いただけたらと思います。(昔は体育館に縄跳びの記録を張り出していた記憶があります。)</li><li>・避難訓練は校内だけではなく、校区内でも行ってほしいと思えます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・協力させていただきます。</li><li>・積極的に地域との連携を図る取組は、開かれた学校に変化しているのがわかります。</li><li>・米づくり体験、図書の読み聞かせ等、地域の方々の支えや交流を大切にしているのは大変よいことだと思えます。</li><li>・授業では、稲作をはじめ餅つき、しめ縄づくりなど、地域の特性を生かした学習が行われています。また地域探検を通じて、地元を知ることも大切だと思います。</li><li>・子どもまつりや餅つき体験では、地域の皆さんからもご協力頂き、地域全体で子供たちを育てるという環境ができていていると思えます。</li><li>・学校だよりは地域の人や家庭にとって学校の様子がよく分かる。</li></ul>
取組の適切さの検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童アンケートの「毎日の勉強が分かる」で「あまり分からない」「分からない」が全体で平均すると15%と出ている。授業に反映をお願いします。</li><li>・児童に対するアンケートで「私は毎日の勉強がわかる」が86%となっている。低学年の弁口でのつまづきは学校が楽しくない原因につながると思うので、放課後フォローアップなどの情実はこちらも必要だと思います。</li><li>・学習到達度調査の結果がすべてであるとは思いますが、改善点の洗い出しとそれに対する取り組み、また良い部分もさらに伸ばしていく取り組みをお願いします。少なくとも、学校の授業をしっかりと理解できるようになればと思う次第です。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶のできる子供が多くなり毎朝楽しいです。</li><li>・アンケートが全てとは思いませんが、児童アンケートの「勉強がよくなる云々」というより「学校が楽しい」の項目が100%達成を期待しています。</li><li>・挨拶をする習慣は地域全体で取り組む、例えば自治会、その他の団体で議案化する。</li><li>・道徳の授業などとおして「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶や、気持ちを伝える「ありがとう」「ごめんなさい」をしっかりと口にすることで人と人がつながることを感じるといじめの減少にもつながり学校も楽しくなっていくと思えます。</li><li>・掃除に対する意識、挨拶に対する意識が高まっているように思いました。</li><li>・「いのちを大切に」で中学生が「そう思う」回答が87%ですが、高学年が85%といずれも90%を切っているのが気になりました。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「朝ごはんを食べたか」のアンケートでは多くの子供が食べていないという実態の驚きました。理由の中には保護者の協力が得られない、共働きで忙しい、大人中心の生活リズムになっている家庭が多いと思われる。根気強く保護者の方には関わる必要があると思えます。</li><li>・朝ご飯を食べてこない児童がいるということで、子供だけの問題ではなく家庭の問題として働きかけをしていただいていることに感謝いたします。「なぜ食べなければいけないのか」を家庭で話し合う機会も必要だと思います。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の先輩から学ぶお米づくりやしめ縄づくりなどは、とても貴重な体験と思えます。農家の方々のご苦労もわかり、食べ残しなどにも気が向くきっかけになればと思います。</li><li>・11月の土曜参観時の校内作品展は、地域の方々の作品発表もあり、学校と地域が共にある三田小学校らしい良さだと思います。</li><li>・アンケート結果の「学校の教育活動や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝えたい」と、「そう思う」が75%でした。先生方もお忙しいとは思いますが、クラスだよりや学年だよりなどをより充実していただければと思います。</li><li>・学校だよりにより地域活動の計画を建てるのに必要である。</li></ul>
改善年度に向けた意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習面においては学校や担任の先生だけでなく、家庭の協力はこれからも必要と思えます。仕事をもった保護者の方々とう連携していくのが課題だと思います。</li><li>・まずは、学校の授業を理解できるように。児童アンケート「毎日の勉強が分かる」90%以上達成に向けた取り組みをお願いします。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年11月30日(土)の授業参観後の教育講演会、依然として保護者の参加が低調でした。</li><li>・校長先生が毎朝校門に立たれ、一人一人の児童におはよう挨拶されていることは大変よいことだと思います。一人一人のちょっとした変化に気づきかけにもなると思えます。継続して続けられることをぞみます。</li><li>・「学校が楽しいと感じる」95%達成はもちろんです。が、「楽しいと思わない」0%も大切だと思います。そのためにも魅力づくりが必要です。地域も巻き込んでいるような施策を検討していただきたいと思います。</li><li>・いじめゼロを目指す取り組みをお願いします。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・三田地区合同防災避難訓練には学校参加で子供たちに来てほしい。</li><li>・学校、担任の先生の保護者への根気強く関わり続けることが必要かと思えます。</li><li>・朝ご飯については、家庭も巻き込んだ取り組みが必要かと思えます。</li><li>・運動は、個人差もありますので一律には難しいと思いますが、児童自身が楽しく運動する取り組みをお願いします。</li><li>・「朝ごはんを食べた」が100%になるようにしてもらいたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・次年度も、家庭・地域との連携を図り、開かれた学校であってほしいと思えます。</li><li>・これまでの取組は継続に加えて、時代に合わせた変化もお願いしたいと思います。</li><li>・地域との連携をより密にし、様々な場面で協力し合える体制づくりが必要かと思えます。その為の取組みも検討をお願いします。</li><li>・次年度もぜひ続けてもらいたい。</li></ul>

## 3 その他のご意見

・我々は常に子供の手本となるような責任ある行動が期待されます。最近、県外では教職員によるハラスメント(いじめ)が新聞紙上を賑わせています。「いじめ」を防ぐ立場にある教員が「ええなんて」と信じられない気持ちです。他県の発生源だから和歌山は関係ないとは世間は思ってくれません。注意する者がおらなかったのだから、「見て見ぬふり」をしていたのか。信頼回復には並大抵のことではない。私も現役で動いていた頃、世間の罵声は激しかった。一人一人が職責を自覚し、一丸となって回復に向けて努力しなさい。

・先頃の神戸の教師間におけるいじめの実態や市内小学校教師による児童体罰など、全国的に様々な問題が出てきています。全く常識では考えられないことですが、これから教師と夏かたがたはコミュニケーションがSNSやTwitter等が当たり前の時代に育った方々です。悪い面ばかりではなく教育に必要になってくる部分でもあります。人と人の関わり方において、この小学校の6年間はとても大切な学びの期間です。幸い、三田小学校は校長先生をはじめ教職員の雰囲気は良好だとお聞きしています。このことが保護者から信頼を得た地域との連携を図る上で大切なことだと思いますので、今後とも続くことを願います。

・家庭に課題がある子供等、気がかりな児童も何人かいると思いますが、各学級に、どの子にとっても居場所のあるような学級づくりができていればよいなと感じます。一人一人の個をとらえ、個を生かせるような魅力ある学校を目指して取り組んでいただきたいと思います。

・児童の健やかな成長のためには、学校、家庭、地域が一体となった取り組みを進めていく必要があります。その中で学校の持つ役割は極めて大きく、今年度実施してきた様々な取り組みを継続していただくとともに、三田小学校独自の新たなアイデアの導入など、児童教育の更なる充実をお願いします。

・学校・保護者・地域社会がより密に協力し合い、意見を出し合い、良いものについては積極的に実践して、より充実した学校運営に繋がることが期待します。